

平成25年度第2回競技委員会

平成26年1月17・18日(金・土)

愛知県・名古屋市(ルブラ王山)

出席者…釜井、諸江、根岸、伊勢、村田、多田、市ヶ谷
森、松本、安藤、柴田、田中、伊藤、木村

1・部長挨拶(釜井部長)

2. 第38回全国高等学校選抜大会(秋田県)

①実施要項について説明あり

- ・プログラム配布は、監督1部チーム2部の計3部とする
- ・用具検査に時間に訂正あり 9:00～→8:00～に訂正
- ・その他、数カ所に訂正あり

②競技について

- ・競技日程は、第1回常任委員会で決定されたものに差し替える
- ・ピスト配置について再検討する
- ・IDカードについては、検討する
- ・違反と罰則表は、最新版を使用する
- ・メンバー表に、選手の利き腕を確認する欄を設ける
- ・メンバー表に記入する選手番号は、通し番号を使用する

③用具検査について

- ・用具検査証にマスクケーブル欄を追加する
- ・検査要項に「マスクケーブル5本まで」を追加

④運営について

- ・荷物は、観客席に持ち込まず荷物置き場に置くように徹底する
- ・開閉開式表彰式の確認
- ・観客席のブロック分けは行わない(広いため)
- ・計画輸送は行わない。選手監督は公共交通機関を利用する
- ・宿泊は、秋北航空サービス株式会社を通じて行う
- ・応援者の宿泊について検討する
- ・負け帰りは認めない
- ・大会運営に、秋田県ジュニアフェンサーズの生徒を利用する
- ・ピスト主任が不足しているため、高校3年生を充てる
- ・全館放送の有無を確認する
- ・競技役員の編成については、2/7までに釜井部長に確認する

3. 平成26年度全国高等学校総合体育大会(神奈川県)

- ・実施要項について説明あり
- ・会議日程の変更 全国委員会9:30～→10:00～に変更
- ・参加制限にエリートアカデミー生徒の文言を追加

- ・ 個人情報の取り扱いについては、（４）の申込期限の後に入れる
 - ・ 申込期限 6 / 20 を 6 / 25 に変更
 - ・ 宿泊担当業者は、JTB に決定
 - ・ プログラム編成会議は、7 / 3・4 の 2 日間をかけて実施する
 - ・ 競技開始時間は、アリーナの開館時間の関係で、10 : 00 となる
 - ・ 開閉開式は、競技会場で行うため座席を設けず、短時間で立ったまま行う。
 - ・ 外国人選手が出場権を取った場合は、アカデミー生徒と同様に都道府県に別枠を与えないのか。
- 特に考慮しないが、今後提案があれば検討する。

4. 平成 26 年度全国高等学校選抜大会(近畿)

- ・ 会場が先日橿原市公苑第一体育館に決定した。ピストは 10 ピスト用意する予定。
- ・ 会議関係は、別会場で行うことを検討している。
- ・ 練習会場については、今後増やしていくことを検討している。
- ・ 役員、審判員等も今後詰めていく。

5. 平成 27 年度全国高等学校総合体育大会(奈良県)

- ・ 会場は、五條市上野町。体育館は、総木造建築で、平成 27 年 5 月の完成予定。
 - ・ 日程は、27 年 8 月 7 日～11 日で実施する予定。
 - ・ プログラム編成会議は、7 月 6 日を予定。
- 神奈川大会と同様に 2 日間の日程を取って欲しい。
- ・ サブアリーナがないため、仮設練習会場を設置する予定で動いている。
 - ・ メインアリーナには、空調設備が入る予定。
 - ・ 観客席が 540 席ほどしかないため、競技会場に仮設観客席を用意することを検討している。

6. エリートアカデミー生徒の扱いについて

- ・ 参加制限の文言については、別紙資料の通りとする。

7. その他

① 平成 26 年度全国総体時のゼッケンについて

- ・ 全国高体連より、ゼッケンに企業名を入れることが可能かと問い合わせを受けた。
- ・ 現在使用しているゼッケンの下に、企業名をぬい付ける形で入れる事は可能と解答した。
- ・ 来年度はこのやり方で実施し、次の大会までに再検討したい。

②規約規程集について

☆奈良県より…現在IHの予選プールが9ピストを使用して行われている。
規約規定集では8ピスト+予備ピストとなっているが、9ピスト+予備ピストとした方が運営上良いのではないか

・これを機会に規約規程集の以下の項目について改定を提案したい。

- 1 (社)日本F協会→(公社)日本F協会
- 2 (公財)全国高体連フェンシング部→(公財)全国高体連フェンシング専門部

規程の改定

第7条1 競技会場(1)

- ・8ピスト→9ピスト
- ・観覧席(約500名分~700名分)→約700名分程度
- ・一般観覧席(約200名~300名分)→約300名分程度

第7条6 補助の設備

- ・練習会場は4~6ピスト分→6ピスト分程度

第4章 競技者および参加者

(2)個人対抗

- ②男子エペ・サーブル及び女子→削除

エペ・サーブルは、の後に「男女それぞれ」を追加

- ④に下記を追加

JOCエリートアカデミー事業に参加している生徒が各都道府県で出場権を獲得した場合は、別にその該当都道府県から同じ人数を追加することができる

(3)高体連特別規則

- ①に下記を追加

大会によっては、ゼッケンとともに大会スポンサーの広告を義務づける場合がある。

2. 全国高等学校選抜大会

(2) 高体連特別規則

- ①に下記を追加

大会によっては、ゼッケンとともに大会スポンサーの広告を義務づける場合がある。

補則1 要項

3. 競技補助員

技術委員会 開催地 16名(2名×8)→18名(2名×9)

ピスト 開催地 80名(5名×8×2)→72名(4名×9×2)

2. 外国人留学生の大会出場規程→外国人留学生等の大会参加

第2条 学校対抗のエントリー数に下記を追加

3. JOCエリートアカデミー事業に参加している生徒は大会開催

要項の規程人員のうち 1 名エントリーすることができる。

第 4 条 報告に下記を追加

2. 各都道府県高等学校体育連盟フェンシング専門部委員長は、JOCエリートアカデミー事業に参加する生徒がいる場合は、4 月当初もしくはその事実が発生した後、出来るだけ速やかに様式 2 により(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部長に報告する。

③その他

- ・コンGRESで、個人対抗の試合順序が変更になった。
→早急に調査する
- ・サーブルの透明マスクの使用が禁止になる。
→日本F協会の改訂後に高体連も変更する